

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 29 年 7 月 27 日 (2017.7.27)

【公開番号】特開 2015-33851 (P2015-33851A)
 【公開日】平成 27 年 2 月 19 日 (2015.2.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-011
 【出願番号】特願 2014-140158 (P2014-140158)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 13 日 (2017.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表層側から順に、() 機能層と () ポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂フィルム層とを有する積層体の製造方法であって、

上記 () ポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂フィルムを

(A) 押出機と T ダイとを備える装置を用い、T ダイから、ポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂の溶融フィルムを、連続的に押出す工程；

(B) 回転する又は循環する第一の鏡面体と、回転する又は循環する第二の鏡面体との間に、上記ポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂の溶融フィルムを供給投入し、押圧する工程；及び、

(C) フィルムを上記第一の鏡面体に抱かせて次の移送ロールへと送り出す工程；を含み、ここで

(D) 上記第一の鏡面体の表面温度は上記第二の鏡面体の表面温度よりも高くされており、

上記 () 機能層は、光拡散機能、反射防止機能、耐汚染性機能、防曇性機能、抗菌性機能、熱伝導性機能、及び帯電防止機能、からなる群から選択される 1 以上の機能を有し、上記積層体は全光線透過率が 80 % 以上である

方法。

【請求項 2】

上記ポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂のガラス転移温度が 150 以上である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

上記 () ポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂フィルムが、第一ポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂層；芳香族ポリカーボネート系樹脂層；第二ポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂層；が、この順に直接積層されたポリ (メタ) アクリルイミド系樹脂多層積層フィルムである請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

上記積層体が、上記ポリ（メタ）アクリルイミド系樹脂フィルムの、少なくとも上記（
）機能層との積層面側の上に、更にアンカーコートを有する請求項１～３の何れか１項に
記載の方法。

【請求項５】

画像表示装置部材の製造方法であって、

（１）請求項１～４の何れか１項に記載の方法で積層体を製造する工程；

（２）上記工程（１）で得られた積層体を使用して画像表示装置部材を製造する工程；
を含む方法。